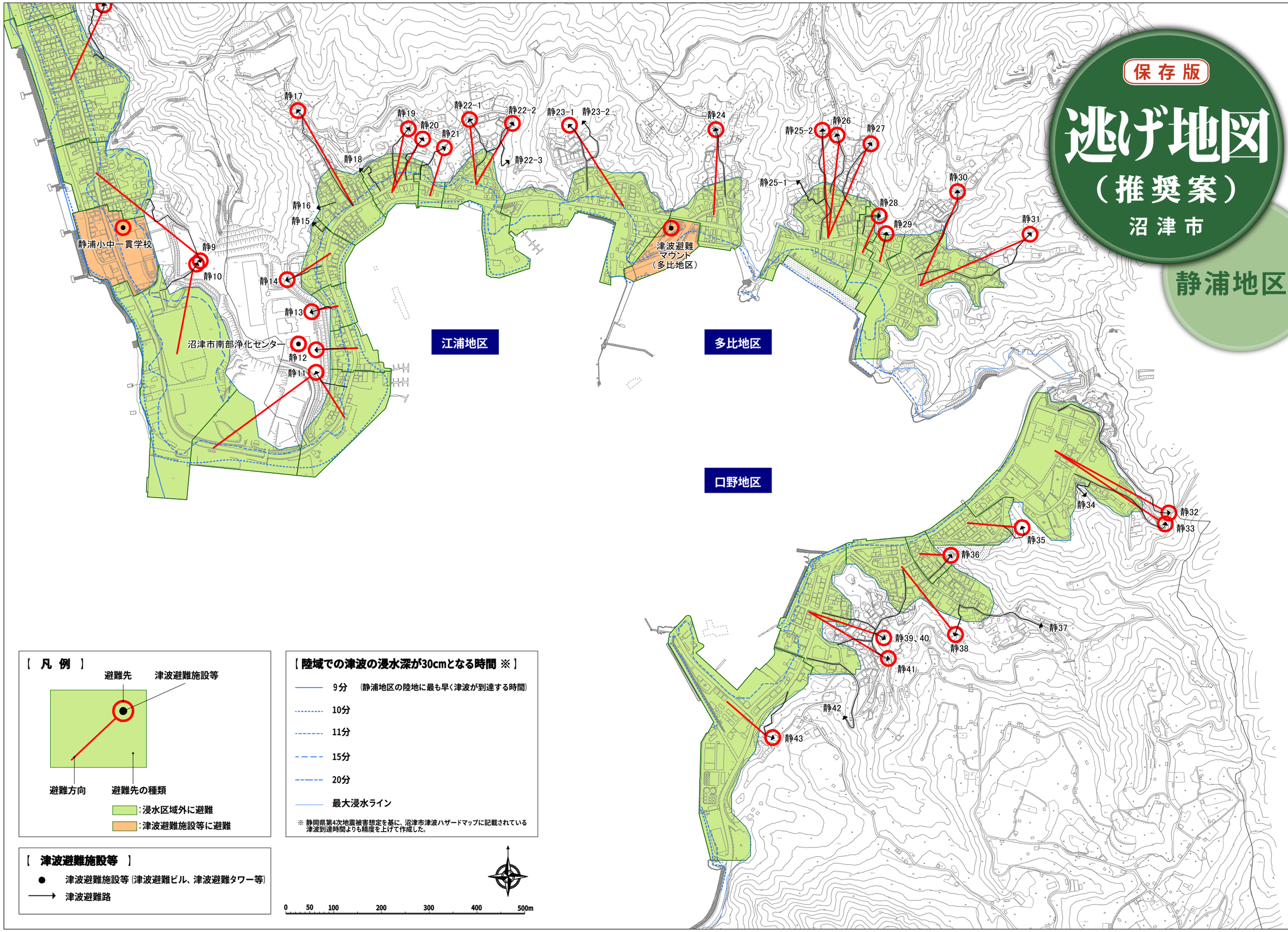
保存版

逃げ地図（推奨案）

沼津市

静浦地区Ⅱ



【 凡 例 】

【 陸域での津波の浸水深が30cmとなる時間 ※ 】

- 9分 （静浦地区の陸地に最も早く津波が到達する時間）
- 10分
- 11分
- 15分
- 20分
- 最大浸水ライン

※ 静岡県第4次地震被害想定を基に、沼津市津波ハザードマップに記載されている津波到達時間よりも精度を上げて作成した。

【 津波避難施設等 】

- ● 津波避難施設等（津波避難ビル、津波避難タワー等）
- → 津波避難路

◆ 津波避難の『心得』

①できるだけ「早く逃げる」

〇避難開始時間は、地震発生後3分を目指す。
〇避難速度は、1m／秒を基本とする。
（津波の進入が極めて早い戸田地区に限り、1．5m/秒とする。）

②“適切な”避難方向・津波避難施設等に「上手に避難する」

〇あらかじめ、避難する方向・場所を決め、逃げ方を把握しておく。

③予定した避難行動ができるように「手間取らない。時間をロスしないために準備する」

〇外に出る　:家具の固定、装備品の用意、家屋の耐震化など
〇たどり着く:ブロック塀除去、草刈り など

◆『逃げ地図（推奨）』の使い方

①ご自宅の「避難先の種類」は何ですか。

①津波浸水区域外

②身近な津波避難施設等

②避難先までの「経路」を確認しましょう。

③あなたの設定した「避難経路」を、実際に歩いてみましょう。
⇒所要時間＿＿＿分

＊津波の浸水時間を確認しながら歩いてみましょう。

◆『逃げ地図（推奨）』の作成方法

①「地元意向」を基に、シミュレーション

〇避難行動ワークショップ（H27～H29）における意向を基に検討しました。
〇技術基準（下表参照）に照らし、技術的検証を行いました。
〇住民説明会（H30年度）において、確認と合意形成を行いました。

② 要支援者を含む「より多くの人の逃げやすさ」に対応

〇自治会単位で避難方向を検討しています。
〇要支援者の為に近くの津波避難ビル等を空けるため、「健常者は可能な範囲でなるべく遠くに避難」することを想定しました。

③ 避難先を決めきらない「 推 奨 案 」として提示

〇逃げ地図（推奨）は、津波避難計画を図化し、「こちら側に逃げる」ほうが危険が少ない、「こうやって逃げる」を実行すれば助かりやすいを、分かりやすく伝えるものとして作成しました。
〇「津波避難計画（逃げ地図（推奨））」を基に、避難訓練等で確認し、個人・自治会で「自分達の避難計画」を作成してください。

◇『逃げ地図（推奨）』の作成基準◇

		共通の基準（戸田を除く）	戸田地区の基準
①避難開始時間		〇地震発生後５分	〇地震発生後３分
②避難速度		〇１ｍ／秒	〇１．５ｍ／秒
③津波避難施設	〇階数	〇避難階は基準水位以上の階	（同左）
	〇構造	〇ＲＣ／ＳＲＳ（Ｓ５６以降の新耐震基準に準拠、同等の耐震補強済み）（備考：津波避難タワーはＳ造）	（同左）
	〇容量	〇原則１人／㎡	（同左）
④避難方向		〇原則として津波から遠ざかる方向、最寄りの浸水区域外もしくは津波避難施設等に向かう方向（健常者は、可能な範囲でなるべく遠くに避難）	（同左）
⑤避難距離		〇原則５００ｍ以下（津波の進入方向及び横方向には２００ｍ以下）	（同左）
備考		※避難開始時間は目標値として「地震発生後３分を目指す」としているが、「津波避難計画（逃げ地図（推奨））の作成」に際しては、地震の揺れが収まる時間を考慮し５分とする。 ※戸田地区については「海岸への津波到達時間が、最短で４分で、避難可能時間が極めて限定される」ことから、上記の基準での対応が必要。	

■ 津波避難訓練対象区域の自治会

連合自治会	「津波避難訓練対象区域」の自治会
静浦地区	江浦、多比、口野

■ 津波避難ビル等一覧

施設名称	建物階数	外階段	避難利用箇所	収容面積（㎡）
沼津市立 静浦小中一貫学校	4	有	3階以上の床面及び屋上	7,412㎡
沼津市 南部浄化センター	一部3	無	屋上	153㎡
津波避難マウント （多比地区）	－	－	－	600㎡

平成３１年３月末現在

■ 津波避難路一覧

避難路名称	上部標高	収容人数
静9	20m	相当数避難可能
静10	20m	相当数避難可能
静11	20m	相当数避難可能
静12	20m	相当数避難可能
静13	20m	相当数避難可能
静14	20m	相当数避難可能
静15	6m	10名程度
静16	12m	20～30名程度
静17	27m	相当数避難可能
静18	8m	20～30名程度
静19	22m	相当数避難可能
静20	22m	20～30名程度
静21	23m	相当数避難可能
静22-1	21m	相当数避難可能
静22-2	22m	相当数避難可能
静22-3	27m	相当数避難可能
静23-1	25m	相当数避難可能
静23-2	22m	相当数避難可能
静24	24m	相当数避難可能
静25-1	21m	30～40名程度
静25-2	21m	相当数避難可能
静26	22m	相当数避難可能
静27	28m	相当数避難可能

避難路名称	上部標高	収容人数
静28	9m	50名程度
静29	19m	100名程度
静30	21m	相当数避難可能
静31	22m	相当数避難可能
静32	23m	相当数避難可能
静33	20m	相当数避難可能
静34	23m	10～20名程度
静35	29m	60～70名程度
静36	14m	30名程度
静37	20m	相当数避難可能
静38	30m	相当数避難可能
静39	20m	相当数避難可能
静40	26m	相当数避難可能
静41	25m	相当数避難可能
静42	21m	相当数避難可能
静43	33m	相当数避難可能

平成３１年３月末現在

※ 避難するための共有スペースが少ないビルや無人となるため避難できる時間帯が限られるビルがあります。
また、外階段が「有」となっているビルでも扉がついている場合もありますので、訓練のときに確認しましょう。

保存版　　沼津市危機管理課 ０５５-９３４－４８０３
平成３１年３月末発行